

2018年8月1日

「世界に誇る観光地 箱根」への挑戦
小田急箱根グループでは2020年度にかけて箱根エリアにおいて
総額100億円規模の大型投資をスタートします
観光×経験 ～ここでしか得られない“特別な思い出”を～

日本有数の観光地、箱根において交通サービスを中心に事業を展開している小田急箱根グループでは、2018年度から2020年度にかけて、乗り物の新造や駅舎改良をはじめとする総額100億円規模の大型投資を順次開始します。

今回の大型投資により、日本国内や世界各地から訪れるゲストにより楽しく、快適に箱根を周遊していただき、“特別な思い出”として心に残る経験のお手伝いをすることで、今後も箱根エリアの発展に貢献してまいります。

大型投資計画の概要は下記のとおりです。

記

【大型投資のポイント】

『もっと乗りたくなる箱根』～乗り物でめぐる箱根の楽しさのさらなる追求～

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 箱根観光船(株) | 新型海賊船の建造 |
| (2) 箱根ロープウェイ(株) | 新型ゴンドラの導入 |
| (3) 箱根登山鉄道(株) | 箱根登山電車新型車両の追加導入 |
| (4) 箱根登山鉄道(株) | 箱根登山電車2000形車両の更新 |
| (5) 箱根登山鉄道(株) | 箱根登山ケーブルカーの更新 |
| (6) 箱根登山バス(株) | 路線バス車両の増車と更新 |

『もっとまわりたくなる箱根』～より充実した空間の提供に向けた山内施設の機能的・質的向上～

- | | |
|---------------------------|------------------------------------|
| (1) 箱根登山鉄道(株)・箱根ロープウェイ(株) | 早雲山駅舎の改築および改修 |
| (2) 箱根登山鉄道(株) | 箱根登山電車各駅の改築 |
| (3) 箱根登山鉄道(株) | 箱根強羅公園 体験工芸館「箱根クラフトハウス」
のリニューアル |
| (4) 箱根ロープウェイ(株) | 大涌谷駅待合室の新設 |
| (5) 箱根登山バス(株) | 箱根キャリーサービスの運搬車両を増強 |

『もっとわかりやすい箱根』～より快適な箱根周遊の実現に向けたサービスの充実～

- | | |
|----------------------|-----------------|
| (1) 箱根登山バス(株) | バスロケーションシステムの導入 |
| (2) 小田急箱根ホールディングス(株) | 情報媒体の多言語対応強化 |

※詳しくは、次ページからの説明文をご覧ください

1 箱根観光船(株) 新型海賊船の建造

「心ときめくクルーズ」をコンセプトに、さらに上質のリゾート感覚を味わっていただくために新たな海賊船を建造します。温かみのある木材を床から天井まで贅沢に使い、調度品についても細部までこだわってクラシック感を演出します。船体の色は湖面に映える上品な黄金色を採用します。

内外装のデザインは、居住空間作りに定評のあるドーンデザイン研究所（代表：水戸岡鋭治氏）が担当します。

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| (1) 全長 | 約35メートル |
| (2) 総トン数 | 約319トン |
| (3) 定員 | 541名 |
| (4) 建造費 | 約12.5億円 |
| (5) デザイン設計 | ドーンデザイン研究所
代表 水戸岡 鋭治氏 |
| (6) 建造会社 | ジャパン マリンユナイテッド株式会社 |
| (7) 名称 | 2019年2月進水式で命名 |
| (8) 就航 | 2019年4月（予定） |
| (9) 運航会社 | 箱根観光船株式会社
(本社：神奈川県小田原市 社長：岡本 裕之) |



【箱根観光船 新型海賊船イメージ】

2 箱根ロープウェイ(株) 新型ゴンドラの導入

より安全性の高いゴンドラを目指して、早雲山～大涌谷間に安全性能に優れたCWA社製の最新型ゴンドラTARIS（タリス）を日本初導入します。扉開口部を大型化してお客さまの乗り降りの際の安定感が向上します。また、ゴンドラのガラス面の拡大によって一層パノラマビューをお楽しみいただけます。

- | | |
|----------|--|
| (1) 室内面積 | 7.59㎡ |
| (2) 乗車定員 | 18名 |
| (3) 形式 | CWA社製 TARIS（タリス） |
| (4) 製造数 | 20台 |
| (5) 製造費 | 約15.5億円 |
| (6) 営業区間 | 早雲山線（早雲山駅～大涌谷駅） |
| (7) 営業開始 | 2021年4月（予定） |
| (8) 運行会社 | 箱根ロープウェイ株式会社
（本社：神奈川県小田原市 社長：鞠子 篤也） |



【箱根ロープウェイ 新型ゴンドライメージ】

3 箱根登山鉄道(株) 箱根登山電車新型車両の追加導入

2014年就役の眺望が優れた最新車両アレグラ号を追加導入します。増備によって車両運用を円滑化し、繁忙期には全列車を3両編成で運転します。

- | | |
|------------|---|
| (1) 営業開始 | 2019年 5月(予定) 1両固定編成 2両
2020年 時期未定 2両固定編成 1編成 |
| (2) 総製造費 | 約12.9億円 |
| (3) デザイン設計 | 岡部憲明アーキテクチャーネットワーク
代表 岡部 憲明氏 |
| (4) 運行会社 | 箱根登山鉄道株式会社
(本社：神奈川県小田原市 社長：府川 光夫) |



【箱根登山電車 アレグラ号】

4 箱根登山鉄道(株) 箱根登山電車2000形車両の更新

車体の更新時期を迎える2000形車両について、制御装置の更新および空調装置の搭載場所を室内から屋根上に変更することで、車内空間を拡充します。

- | | |
|----------|------------------|
| (1) 営業開始 | 2021年～2022年頃(予定) |
| (2) 対象車両 | 2000形2両固定2編成 |
| (3) 更新費用 | 約8.0億円 |
| (4) 運行会社 | 箱根登山鉄道株式会社 |



【箱根登山電車 2000形】(現行車両)

5 箱根登山鉄道(株) 箱根登山ケーブルカーの更新

2021年の鋼索線開業100周年に向けて、現在のケーブルカー車両を内装、外装ともに大規模リニューアルします。あわせて、ケーブルカー巻上設備を新造して、安全性も高めます。

- (1) 営業開始 2020年4月(予定)
- (2) 更新費用 約7.8億円
- (3) 運行会社 箱根登山鉄道株式会社



【箱根登山ケーブルカー】(現行車両)

6 箱根登山バス(株) 路線バス車両の増車と更新

輸送力の高い大型車両の増備を推進します。大型荷物にも対応したラゲージスペースを運転席後ろに標準装備します。

- (1) 更新台数 約50台
- (2) 更新期間 2018年度～2022年度
- (3) 更新費用 約11.6億円
- (4) 運行会社 箱根登山バス株式会社
(本社：神奈川県小田原市 社長：中丸 富夫)



【箱根登山バス】現行車両



ラゲージスペース(イメージ)

Ⅱ 『もっとまわりたくなる箱根』～より充実した空間の提供に向けた山内施設の機能的・質的向上～

1 箱根登山鉄道(株)・箱根ロープウェイ(株) 早雲山駅舎の改築および改修

箱根登山ケーブルカーから箱根ロープウェイへの乗換駅の早雲山駅について、箱根登山ケーブルカー駅舎部を建て替えるとともに、箱根ロープウェイ既存駅舎と一体化し、駅機能の強化を図ります。

バリアフリーなど乗り換え機能強化に加えて、大文字焼きが行われる明星ヶ岳や遠く相模湾を一望いただけるテラスには足湯も設置する予定です。

- | | |
|-----------|---|
| (1) 所在地 | 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 1300-328 他 |
| (2) 概要 | ①箱根登山ケーブルカーと箱根ロープウェイとの乗り換え機能の強化
②バリアフリー対応の強化
③明星ヶ岳や相模湾を一望する足湯テラスの設置 |
| (3) 敷地面積 | 約 4,270㎡ |
| (4) 規模・設備 | 総面積約 4,800㎡（地上2階、地下1階）
エレベーター3基、エスカレーター4基 |
| (5) 営業開始 | 2020年春（予定） |
| (6) 建築費用 | 約 24.1億円 |



【早雲山 新駅舎イメージ】

2 箱根登山鉄道(株) 箱根登山電車各駅の改築

箱根登山鉄道の下記4駅において耐震強化を目的とした駅舎の改築と、すでに設置済みの入生田駅を除く3駅については多目的トイレを新設します。安全性の向上や待合スペース拡充など、ご利用いただきやすい駅を目指します。

- (1) 対象駅 箱根板橋駅、入生田駅、大平台駅、小涌谷駅
(2) 使用開始 ①2018年8月(予定) 箱根板橋駅、入生田駅
②時期未定※ 大平台駅、小涌谷駅
※2018年度～2019年度施工予定
- (3) 改築費用 約3.9億円
(4) その他 塔ノ沢駅、宮ノ下駅、彫刻の森駅についても2018年度～2020年度に、トイレの改修を実施(予定)
(5) 運営会社 箱根登山鉄道株式会社



【箱根板橋駅イメージ】

3 箱根登山鉄道(株) 箱根強羅公園体験工芸館 箱根クラフトハウスのリニューアル

2019年の開業15周年にあわせて、施設リニューアルと体験施設を充実します。また、ガラス・陶芸作家の創作したガラスアートや器などの作品を取り扱う雑貨セレクトショップをオープンします。

- (1) 所在地 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 箱根強羅公園内
(2) 営業開始 2019年4月(予定)「ポタリーペインティング体験」
2019年7月(予定)「切子体験」
お土産スポット「こまもの屋 箱根」
(3) 費用 約1.0億円
(4) 運営会社 箱根登山鉄道株式会社



【体験スペース イメージ】



【お土産スポット イメージ】

4 箱根ロープウェイ(株) 大涌谷駅待合室の新設

大涌谷駅舎内に、旅客滞在スペースの確保や防災備蓄品の配備など火山防災を目的に待合室を設置します。待合室は富士山側に面しており、富士山ビュースポットとしてもお楽しみいただけます。

- | | |
|----------|--------------------|
| (1) 所在地 | 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1251 |
| (2) 建築面積 | 174.77㎡ |
| (3) 使用開始 | 2018年12月(予定) |
| (4) 建築費用 | 約3.3億円 |
| (5) 運営会社 | 箱根ロープウェイ株式会社 |



【箱根ロープウェイ 大涌谷駅待合室イメージ】

5 箱根登山バス(株) 箱根キャリアサービス運搬車両の増強

「箱根を身軽に楽しむ」というコンセプトで2005年に手荷物配送サービスを開始しています。420を超える提携ホテル、旅館へ年間取扱10万個以上のお荷物をお運びしており、運搬車両を順次更新するとともに増車を進めます。

- | | |
|----------|---------------|
| (1) 更新台数 | 約10台うち3台は増車 |
| (2) 更新期間 | 2018年度～2022年度 |
| (3) 更新費用 | 約0.1億円 |
| (4) 運営会社 | 箱根登山バス株式会社 |



【箱根キャリアサービス運搬車両】

Ⅲ 『もっとわかりやすい箱根』～より快適な箱根周遊の実現に向けたサービスの充実～

1 箱根登山バス(株) バスロケーションシステムの導入

安心してバスをご利用いただけるよう、GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、スマートフォンに配信する「バスロケーションシステム」を導入します。

- (1) 対応言語 日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語
- (2) 運用開始 2019年3月（予定）
- (3) 運営会社 箱根登山バス株式会社

2 小田急箱根ホールディングス(株) 情報媒体の多言語対応強化

訪日外国人の方にわかりやすく観光情報を提供するため、多言語パンフレット、WEBサイトの充実を図ります。

- (1) 実施内容 ①観光ポータルサイト「箱根ナビ」外国語版リニューアル
②多言語パンフレットの拡充
- (2) 実施時期 2019年3月（予定）
- (3) 運営会社 小田急箱根ホールディングス株式会社
(本社：小田原市 社長：五十嵐 秀)



【箱根ナビ外国語版（現行）】



【各種多言語パンフレット（現行）】

※本ニュースリリースに記載の情報は、2018年8月1日時点の計画であり、今後、営業開始までの間にそれぞれの計画に変更等が生じる場合がございます。

※本ニュースリリースは、国土交通記者会、ときわクラブ、都庁記者クラブ、横浜経済記者クラブ、小田原記者クラブ、レジャー記者クラブ、旅行雑誌各誌の皆さまにお届けしています

このニュースリリースに関するお問い合わせは以下の担当までお願いします。

小田急箱根ホールディングス(株)	営業統括部	辻元・鈴木	TEL:0465-32-6801
箱根観光船(株)	営業推進部	松井	TEL:0460-83-6325
箱根ロープウェイ(株)	総務部	神田	TEL:0465-32-2201
箱根登山鉄道(株)	総務部	菅原	TEL:0465-32-6821
箱根登山バス(株)	運輸部	佐野	TEL:0465-35-1201